

科目名	日本語教育文法Ⅳ(語用論)
授業の目標・ねらい	話し手はどのように意味を伝え、聞き手はどのように理解しているのかを、コミュニケーションが行われる状況や文脈から考えます。そして、文字通りの意味だけではない言葉の伝わり方とその適切性の基準について理解することを目標とします。
授業内容・授業方法	会話例をもとに、言語の使用状況と理解過程を分析しながら、どのようにコミュニケーションが成り立っているのかを考えていきます。 1. 語用論とは 2. 語用論理論 3. ポライトネスの原理
予習・復習	「洗濯物、お願い。」という発話の意図を、聞き手がどのように理解しているのかを考えましょう。授業後は、習った理論を用いて、それを自分で説明してみましょう。
使用テキスト	
参考書等	
講師名	中村かおり
所属	
研究分野	日本語教育
講師紹介	(指導法・文章表現など) アニメーションを用いた助詞の指導法、大学における文章表現指導などを中心に研究を進めています。主な著書に『イメージでわかる！日本語の助詞』『新完全マスター聴解日本語能力試験 N1～N4』『新完全マスター文法日本語能力試験 N1～N4』『日本留学試験対策完全攻略問題集 読解』(共著)があります。